

	<h1 style="text-align: center;">進取の気概</h1> <p style="text-align: center;">（校長室だより）</p>	<p style="text-align: center;">有田市立箕島中学校</p> <p style="text-align: center;">自主 友愛 剛健</p>	<p style="text-align: center;">R4・3・11</p> <p style="text-align: center;">No.63</p>
---	--	--	---

2011(平成23)年3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖を震源とする地震によって東日本大震災が発生しました。地震の規模はマグニチュード9.0、国内観測史上最大の地震でした。東北や北関東を中心に最大震度7、その後、大きな津波が沿岸部に押し寄せました。死者、行方不明者は2万人以上、福島第一原子力発電所の爆発事故も起きました。「過ぎ去ったこと」にするにはまだまだできない被害と影響が続いています。地震が起きた当時はみなさんはまだ小さく当時の記憶はないかもしれませんが、命と重みと「当たり前の日常」の尊さを感じる3月11日がやってきました。



震災当時、大変な状況の中で心が揺れ動かされる心温まる出来事もありました。さまざまな人たちの声を紹介します。

- 4時間の道のりを歩いているときに、トイレのご利用どうぞ！と書いたスケッチブックを持って、自宅のお手洗いを解放していた女性がいた。日本って、やはり世界一温かい国だよ。あれを見たときは感動して泣けてきた。
- ディスニーランドでは、ショップのお菓子なども配給された。ちょっと派手目な女子高生たちが必要以上にたくさんもらって「何だ？」って一瞬思ったけど、その後その子たちが、避難所の子どもたちにお菓子を配っていたところを見て感動。子ども連れは動けない状況だったから、本当にありがたい心配りだった。
- 物が散乱しているスーパーで、落ちていた物を律儀に拾い、そして黙って列に並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。凄いよ日本。
- 一回の青信号で1台しか前に進めないなんてザラだったけど、誰もが譲り合い穏やかに運転している姿に感動した。交差点で交通が5分以上完全マヒするシーンもあったけど、10時間の間お礼以外のクラクションの音を耳にしなかった。日本がますます好きになった。
- 避難所で、4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に日本人の誇りを見た。
- バイト先に若いお兄さんたちが軍団で酒を買いに来ただけど、その中の一人が「やべえ、オレお酒のためにしかお金持ってきてないから募金できん。ちょっとこれ買うのやめるわ」って言って商品返品してそのお金全部募金してた。お友達も続々と募金しててすごい感動した。すごいよ。
- 駅員さんに「昨日一生懸命電車を走らせてくれてありがとう」と言っている小さい子たちを見た。駅員さん泣いていた。俺は号泣してた。
- 停電すると、それを直す人がいて、断水すると、それを直す人がいて、原発で事故が起ると、それを直しに行く人がいる。勝手に復旧してるわけじゃない。俺らが室内でマダカナーとか言っている間クソ寒い中死ぬ気で頑張ってくれてる人がいる。

(引用：<https://xn--eqrw4oto6b.com/higashinihonndaishinnsai>)